

# 病院だより

発行：長野県立木曽病院  
編集：広報委員会  
平成20年8月1日  
住所：木曽町福高6613-4  
電話：0264-22-2703

## 木曽病院の現状について

院長 久米田 茂喜

一、はじめに、患者数減少と病院の存続、平成19年度決算では、県立病院のなかでは唯一木曽病院だけが黒字経営を維持することができました。これは不採算部門等への県の一般会計からの繰り入れ額が増えている(年間6億円)とはいえ、平成11年度より連続9年の赤字であり、この地域と病院規模からこれは奇跡に近いことであることは確かであり、地域の皆さんのご利用とご理解があり、職員一同も頑張った結果であります。しかしながら医療収益は平成18年度に比し実質2億円の収入減であり、今年度は現状のままでは、相当の赤字経営に転落する見込みです。この最大の原因は、利用される患者さんの数の減少であります。平成19年度は前年に比し、入院患者数が8%減少し、今年度はさらにその5%減少した状態が続いており、病床利用率は70%台となっております。259床の病院ですが、たえず60、80床のベッドが空いたままとなっている訳で、病院の在り方が問われる状況です。また現在最大の医療問題である医師不足がさらに加速し悪循環に陥ることな

ります。使命感で頑張っている医師のモチベーションがなくなり、派遣側(大学)からは、患者数が少ないところには医師を派遣する必要はないということ、医師引き揚げの最大の理由となります。忙し過ぎることは医師が持ち堪えられなくなり辞める原因となりますが、利用者がいないことはそれ以上に病院が破綻する原因となります。とくに木曽では進んで赴任したいという医師は皆無に近く、一人でも「やめた。」と言えば、明日にでも病院が崩壊する危険性を絶えずはらんでいます。木曽病院の使命は、広大な医療圏唯一の病院で、24時間365日急性疾患から慢性疾患までほとんどの領域をカバーする医療を展開し、かつ出来るだけ高度な医療レベルの提供をしなければならぬことです。脳外科、泌尿器科、耳鼻科、精神科の常勤医不在という現実やパート医師による対応、常勤医がいても対応できる診療に限界があること等問題があります。しかしながら残っている医師の頑張り、都会の病院よりレベルの高い医療ができていことは多々あります。木曽を見捨てるならいざ知らず、木曽に住み、地域に愛着がある住民の皆様、どうぞ、まず木曽病院を利用してみてください。病院の存続がかかっています。

### 二、病院機能評価更新認定

本年2月28日、29日、3月1日に更新受審した日本病院機能評価機構の審査にはほぼ一発合格し、6月16日付けの新しい認定証書が届きました。これは全国的にみて第三者の公正な評価として、木曽病院は病院の機能とサービスの質がよいものだという事です。職員の自信と励みになります。地域の皆さんも、

全国的にも評価された病院があるという認識を是非もっていただきたいものです。

### 三、内視鏡室・人間ドック室・地域支援室 改修終了

さて、しばらく工事でご迷惑をおかけしていましたが、内視鏡室の改修(とくに大腸検査の前処置に際し、スペースと専用トイレを確保しました)、人間ドック室の改修(個室を2部屋用意し、いい家具を揃えゆったりとした居住空間も確保しました)および地域支援室の充実(いまままで小さく別々であった訪問診療室、地域連携室と相談員室をまとめて充実し一層の連携ができるようにしました)が終了しました。人間ドック部門はかなり立派なものとなり、いまままで設備的にいまひとつ自信をもってお勧めできなかったのですが、これからは松本の民間病院までいく必要はないのではないかと思えます。どうぞご利用下さい。

### 四、電子カルテ稼働開始

数年前より準備を進めておりました電子カルテが、7月20日より本格稼働しました。勿論、県立病院のなかでも先陣をきっての導入です。ただ導入直後は、若干の混乱も予想されますが、医療の標準化と安全に役立つものとの考えによる導入でありますので、皆様のご理解をお願い申し上げます。

### 五、おわりに

厳しい状況であっても、木曽病院職員一同できる限り質の高い地域医療を提供できるように頑張っていくつもりです。厳しい夏の折、脱水に気をつけ、健康に過ごして下さい。しかしながら少しでも健康に心配なことがあるようでしたら、まず地元の木曽病院をご利用下さい。

## 人間ドックのすすめ

### ～ドック室リニューアルしました～

当院の人間ドック受診者用の控え室及び宿泊室は、これまで4階南病棟の一般病室を使用していましたが、今回2階に新しく独立したスペースを確保しました。

宿泊室は、2部屋ご用意しました。また控え室には高精度体成分分析装置を設置し、身体の状態を簡易に自動測定できるようになっています。ハイビジョンテレビやマッサージチェアも設置しました。

新しくなった人間ドック室で、日常のあわただしさを忘れ、ご自分やご家族の健康についてゆっくり考えてみませんか。



受診者控え室



マッサージチェア



受診者宿泊室  
(ユニットバス・ベッドルーム)

#### Q どんな方が対象ですか？

▶人間ドックは特別な自覚症状もなく健康と思われている方が対象となります。

#### Q どんなコースがありますか？

▶当院のドックは1泊2日コースと日帰りコースの2種類になります。  
受診日や料金は次のとおりです。

コース	受診日等	料金(税込み)
1泊2日コース	火～水曜日コース(祝祭日は除く) (水曜日に保健師の指導)	68,250円
	木～金曜日コース(祝祭日は除く) (金曜日に保健師の指導)	
日帰りコース	月～金曜日(祝祭日は除く)	42,000円

#### Q どんな検査が受けられますか？

▶コースごとに、次のような検査が受けられます。(左ページをご覧ください)  
オプション検査を希望される方は予約の際にお申し出ください。



# 県立木曽病院の現状と 今後について

副院長兼診療部長 飯冨 章博

今回、副院長に就任しました内科の飯冨です。

木曽地域は、その比較的広大な医療圏にもかかわらず当院が唯一の病院であり、開業の先生方も高齢の方が多く、入院施設のある医院はありません。権兵衛トンネルの開通によっても現状では特に大きな変化はなく、直近の伊那中央病院へは、当院に常勤医のない脳外科疾患患者さんを当院より救急搬送する以外は、木曽地域の患者さんはやはり当院にかかられる方がほとんどです。しかしながら、高齢化が進み人口が減少しているため、当院の受診患者数および入院患者数ほどの科においても減少傾向です。これは、当然ながら経営面に影響を及ぼし、県立病院では珍しく赤字を何年か維持している当院でも、昨年度あたりから収入は大幅に落ち込み、今年度は赤字の公算が高いという状況です。患者さんが少ない分医師や看護師は楽ができるかといえ、当然そのような訳にはいかず、全国的にも医師不足の昨今、当院でも今年度から内科医師が一名減員とな



る等、ぎりぎりの看護職員体制で臨まざるを得ない状態です。更に、療養病床群は削減の方針となり、診療報酬も引き下げになるなど、国や県からのバックアップは、経費や人員配置においてもあまり望めない状態…。

このような状況で考えられる方策は、どうしても限られてくるかと思えますが、院長も考えているように、数年の内には病床規模を縮小し、急性期や救急部門を制限しなければならぬ可能性がります。それによる職員の削減等で支出や経費を抑えなければ、先程述べたように収入の大幅な増加が見込めない以上、病院経営は成り立たないと思われれます。一方で、職員確保、特に医師の確保は非常に困難ですが、病院としての特色を何か作ってアピールする、例えば当院では森林セラピードックという、町とタイアップした独自の診療を行っています。これに興味を持って熱心に診療してくれている医師がいます。こういう医師を含めて、どうやって「やる気のある」医師や職員に病院に残ってもらえるようにするか、答えは簡単には出ないとは思いますが、考えていかねばならないと考えています。大変な状況ですが、皆さんのご協力なしには解決しない問題ばかりです。どうぞよろしくお願い致します。

## 新任医師自己紹介



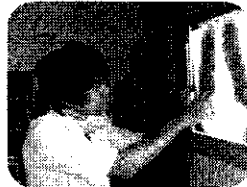
研修医  
一本木 邦治

研修医が一名しかおらず寂しいですが、木曽を満喫しつつ頑張りますのでよろしくお祈りします。



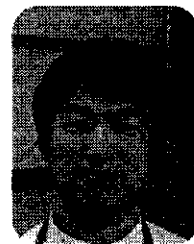
内科  
木村 岳史

おかげ様で楽しく仕事させて頂いております。精一杯がんばりますのでよろしくお祈りします。



整形外科  
畑中 大介

木曽病院生まれです。木曽のマイナスイオンをふんだんに摂取したいと思っております。よろしくお祈りします。



神経内科  
山口 浩史

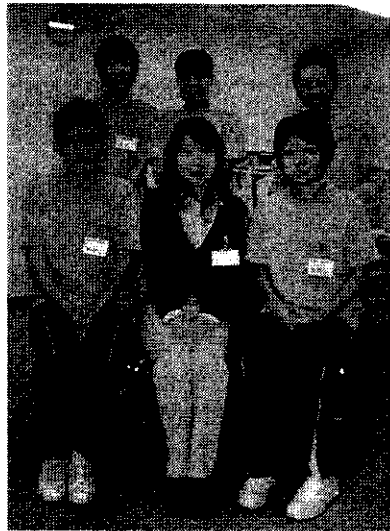
昨年度は王滝村診療所に勤務し、4月から木曽病院に戻ってまいりました。王滝村では、木曽病院の必要性を痛感することも、地域から見て改善して欲しい面が見えてきました。この地域にあった医療を提供できるようお手伝いさせていただきます。

2. 加熱して調理する食品は十分に加熱しましょう。
3. 食肉を生で食べることは控えましょう。

地域支援室です

～よろしくお願ひします～

4月から、訪問看護室、地域連携室、医療福祉相談室が一ヶ所に集まり、地域支援室として新たにスタートしました。それぞれの業務間の連携、また、地域の医療・保健・福祉担当者との連携を強化し、地域の皆様の要望に応えられるようスタッフ一同頑張っています。



地域支援室の各部署の業務について、簡単にご紹介させていただきます。

☆ 訪問看護では、患者様が住み慣れた家庭や、地域社会で安心して療養生活を送っていただけるよう支援しています。訪問診療・リハビリ・訪問薬剤指導・栄養指導もあわせて行っている他、介護者の方の介護相談にも応じています。

☆ 地域連携では、紹介診療を円滑に行うために、院内のあらゆる部門と連携を密にして、迅速、且つ、質の高い技術と診療提供に努めています。例えば、転院の手続きや返書の処

理等を行っています。

☆ 医療福祉相談では、福祉制度の手続きや退院後の生活について等のご相談に対応しています。4月から相談員が野口に替わりました。皆さんのお力になれるよう精一杯やっつけていきたいと思いますので、お気軽にご相談ください。

4月から、新しい訪問看護車（スズキSX4）も来て、早速毎日活躍しています!!皆さん、地域支援室をよろしくお願ひいたします。

看護部から ～看護師長紹介～

☆新任の看護師長です。

・ 4階南病棟 松上辰代（新任）

木曾に生まれ育ち、木曾病院一筋の私ですが、この4月より4階南病棟看護師長となり、緊張や不安の日々を過ごしています。

今までどおり、患者様の入院から退院までのきめ細かな援助の過程で、病気が回復されるよう心配りをしていきたいと思ひます。また、地域の皆様においては、病院を御利用された際は、忌憚のないご意見を寄せていただき、病棟運営に反映させたいと思ひます。よろしくお願ひします。

・ 療養病棟 本楯芳子（新任）

4月から療養病棟の師長になりました。一般病棟と違い、わからない事ばかりで戸惑っています。優しいスタッフに支えられて頑張っています。これからも、ご迷惑をおかけするかと思ひますが、宜しくお願ひします。

～よろしくお願ひします～



☆病棟が変わった看護師長です。

・ 3階北病棟 重盛るり子

療養病棟から3階北病棟に異動になり、慢性的から急性期へのギャップに戸惑うことの多い毎日です。頑張っている医師や看護師などスタッフと協力して、患者様やご家族の皆さんが安心して入院生活を送っていただけるよう努力していきたいと思ひます。何でもお気軽に声をかけてください。

・ 4階北病棟 出口和子

4階北病棟は患者様の数も職員の数も多く管理の必要性を強く感じます。また急性期や急変時には的確な判断が求められ、職員は日々勉強を積んでいます。さらに職員のレベルアップと連携を図り地域の方々のお役に立ちたいと思ひます。退院される患者様の笑顔が職員の見えです。どうぞよろしくお願ひ致します。

4. 調理器具は流水で十分に洗い、手ふきはこまめに洗濯をしましょう。

5. 飲料水の管理には十分注意をしましょう。海外旅行先では生水・氷の入った飲料は避けましょう。

# 外来診療担当医師

(平成20年8月1日)

診療科	月	火	水	木	金
内科 ◎は新患担当医 (午後の予約再診)	小林(信) 松本協立・山崎 小松 ◎飯島 (伊藤)	木村 ◎伊藤 高飯 (堀込)	堀込 ◎高橋 飯島	木村 木伊藤 ◎小高 村藤松橋	◎木村 松本協立・山崎 小松 飯島
神経内科	井上(教)	井上(教)	井上(教)		信大
外科	久米田 大町	小山	大町	大町 小山	久米田 小山
整形外科	中曾根 小林(黄) 畑中(11:00~)	信大 畑中	中曾根 小林(黄) 畑中(11:00~)	中曾根 畑中	畑中 小林(黄) 中曾根(11:00~)
小児科	井上(賢)	岩波	井上(賢)	井上(賢)	岩波
眼科	天谷 森(10:00~)	天谷 森(10:00~)	天谷 森(10:00~)	天谷 森(10:00~)	天谷 森(10:00~)
脳神経外科 (神経内科外来にて)				信大 9:00~	
産婦人科	※吉岡	斉藤	吉岡	斉藤	吉岡
耳鼻咽喉科		信大 14:00~			信大 14:00~
精神科	信大 10:00~	村井病院 9:00~	信大 10:00~	金松 クリニック 9:00~	信大 10:00~
泌尿器科	信大 9:00~			信大 9:00~	
皮膚科	信大 9:00~			信大 9:00~	
放射線科		信大 (読影) 9:00~			諏訪日赤 (治療) 13:00~
形成外科		信大 9:00~			
麻酔科			柴田		
血液内科 (皮膚科外来にて)					信大 9:00~
呼吸器 (内科外来にて)	信大 13:00~				

※産婦人科：月曜日の午前中は予約のみの診療となります。

月曜日の午後(13:00~)は予約外の方の診療となり、受付は窓口にて9:00~13:30とさせていただきます。

内科：◎印は新患担当医です。

午後外来は再診の方の予約診療のみです。

